

塩害およびアルカリシリカ反応抑止剤 **リフレα40**

各種資料DLページ

リフレα40の特長

リフレα40は、その主成分である亜硝酸リチウム水溶液によりコンクリート構造物の劣化原因である

- ・塩害による鉄筋腐食
- ・中性化による鉄筋腐食
- ・アルカリシリカ反応

を抑制し、コンクリート構造物を健全な状態に保つことが可能です。

リフレα40の性状

	リフレα40
主成分	亜硝酸リチウム水溶液
固形分	40±1%
比重	1.25 (1.20～1.39)
ph	9 (8～10)

リフレα40の施工方法**■塗布・含浸工法**

コンクリート表面にローラー・刷毛等で塗布します。

塗布量の目安：200～600g/m²

(右表参照)

(1回当たりの塗布量の目安200g/m²程度)

■モルタル・コンクリート混和工法

モルタルやコンクリートに混和し、鉄筋やコンクリートはつり面に直接施工します。

※弊社主要製品の混和配合は裏面参照。



6Kg/箱

20Kg/缶

荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

リフレα40の各種条件における塗布量例

リフレα40塗布量 (g/m ²)					
算定条件		NO ₂ ⁻ /Cl ⁻ モル比=1.0			
かぶり (cm)		3	5	7	10
コンクリート中の塩化物イオン量 (kg/m ³)	0.0	0	0	0	0
	1.0	67	112	157	224
	2.0	134	224	314	448
	3.0	202	336	470	672
	4.0	269	448	627	896
	5.0	336	560	784	1120
	6.0	403	672	941	1344
	7.0	470	784	1098	1568
	8.0	538	896	1254	1792
	9.0	605	1008	1411	2016
	10.0	672	1120	1568	2240

■ ～200 g/m² (1回～) ■ 200～400 g/m² (2回～) ■ 400～600 g/m² (3回～)

※NO₂⁻/Cl⁻モル比、かぶり厚さなどの現場条件に応じて塗布量は計算を行ってください。

塩害例



塗布・含浸工法



施工上の注意

- ・リフレα 40はpH6以下では不安定となり分解してNOxを発生しますので、酸性物質には絶対接触させないようにしてください。
- ・リフレα 40は植物にかかると枯れる場合がありますのでご注意ください。
- ・リフレα 40はウレタン系の材料と接触するとウレタン黄変を起こすことがありますのでご注意ください。

保管上の注意事項

- ・雨水等が掛からないよう屋内保管を原則とします。また湿気からなるべく遮断してください。
- ・直射日光を避け、0℃以下、40℃以上にならないように保管してください。(冬期の凍結にご注意ください)
- ・絶対に飲まないでください。
- ・ペットボトルやビンなどの飲料容器へ移液や保管をしないでください。

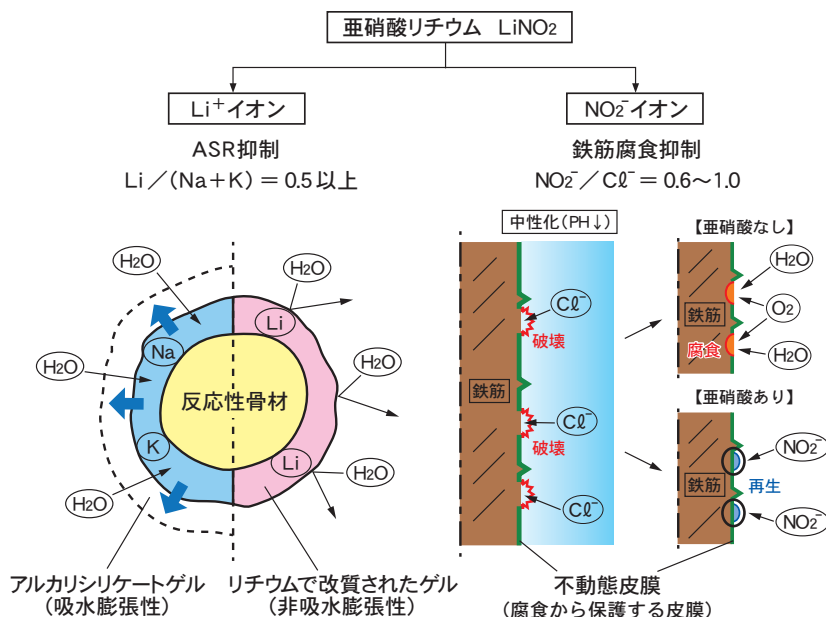
リフレα 40の作用メカニズム

■鉄筋腐食の抑制

亜硝酸イオンが、塩化物イオンや中性化によって破壊される不動態皮膜(腐食からの保護性を有する)を再生することで鉄筋腐食を抑制します。

■アルカリシリカ反応(ASR)の抑制

リチウムイオンが、吸水膨張性を有するアルカリシリカゲルを非膨張性のゲルに改質することでASRを抑制します。



亜硝酸リチウムの混和配合例

【リフレモルセットSPα工法】

配合	亜硝酸リチウム含有量 kg/m ³ ・固形分	単位量 (kg)			練上がり量
		リフレモルセットSP	リフレα 40	水	
1m ³	55	1824(約73袋)	137.5	210 (195~225)	約1000ℓ
1袋		25(1袋)	1.884	2.870 (2.670~3.080)	約13.7ℓ

【リフレモルセットSPハイパー】

配合	亜硝酸リチウム含有量 kg/m ³ ・固形分	単位量 (kg)			練上がり量
		リフレモルセットSPハイパー	リフレα 40	水	
1m ³	55	1725(69袋)	137.5	197 (182~212)	約1000ℓ
1袋		25(1袋)	2.000	2.900 (2.640~3.070)	約15.0ℓ

【リフレグラウトP】

配合	亜硝酸リチウム含有量 kg/m ³ ・固形分	単位量 (kg)			練上がり量
		リフレグラウトP	リフレα 40	水	
1m ³	16	2000(80袋)	40	248 (232~264)	約1000ℓ
1袋		25(1袋)	0.500	3.100 (2.900~3.300)	約12.5ℓ

※各製品へのその他添加量は別途お問い合わせください。

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

取り扱い上の注意

- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないください。
- 取り扱い後は手、顔をよく洗ってください。
- 使用前にSDSを入手しご確認ください。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないでください。
- 妊娠中及び授乳期中は接触を避けてください。
- 環境への放出は避けること。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稻荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は